

IV 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

基本財産有価証券は事業年度末日の市場価格に基づく時価により評価している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	101,007	0	0	101,007
有価証券	4,319,863,275	784,854,280	0	5,104,717,555
小 計	4,319,964,282	784,854,280	0	5,104,818,562
特定資産				
奨学事業積立資産				
定期預金	65,000,000	0	0	65,000,000
有価証券	94,867,500	17,236,000	0	112,103,500
小 計	159,867,500	17,236,000	0	177,103,500
合 計	4,479,831,782	802,090,280	0	5,281,922,062

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
定期預金	101,007	(101,007)	(0)	(-)
有価証券	5,104,717,555	(5,104,717,555)	(0)	(-)
小 計	5,104,818,562	(5,104,818,562)	(0)	(-)
特定資産				
奨学事業積立資産				
定期預金	65,000,000	(65,000,000)	(0)	(-)
有価証券	112,103,500	(112,103,500)	(0)	(-)
小 計	177,103,500	(177,103,500)	(0)	(-)
合 計	5,281,922,062	(5,281,922,062)	(0)	(-)

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	120
基本財産配当金	66,459,435
奨学資金積立資産取崩収入	0
合 計	66,459,555